

上下水道事業啓発講演会開催 ～東日本大震災における上下水道の支援活動と今後の課題～

参加申込不要

入場無料



平成23年3月20日宮城県宮城郡松島町での救援活動の様子

日時

平成25年3月3日(日)
10:00～12:00(開場9:30)

会場

桑名市民会館3階大会議室
(桑名市中央町三丁目20)



※参加者には「多度の滴」を進呈します。(先着100人)

講演内容

- 第1部 桑名市上下水道事業の現状
講師 桑名市上下水道部 経営企画課長
第2部 東日本大震災の教訓と対応
講師 名古屋市上下水道局 佐野勝実氏

お問い合わせ

桑名市上下水道部 経営企画課
電話番号 0594-49-2004



「水道事業・下水道事業の現状と課題」について

現状と課題

本市の水道事業と下水道事業には次のような現状と課題があります。

○水道事業の現状

- ・水需要の減少に伴う料金収入の減少
- ・増加傾向であった給水区域内人口の減少

○水道事業の課題

- ・施設の経年劣化による維持管理費の増大
- ・配水区域の再編と適切な施設配置
- ・緊急時に対応できる水源施設のネットワーク化
- ・地震に対応した耐震化推進
- ・健全な企業経営の維持

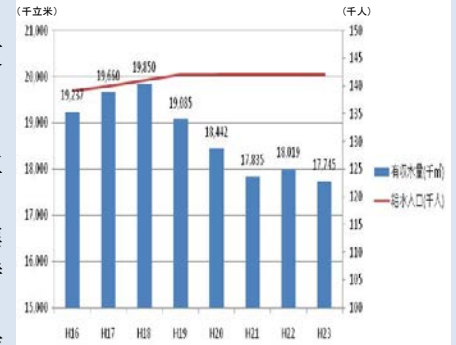
○下水道事業の現状

- ・水道使用量の減少に伴う使用料収入の減少

○下水道事業の課題

- ・健全な企業経営体制の確立
- ・水洗化率の向上
- ・地震に対応した耐震化推進
- ・施設の経年劣化による維持管理費の増大
- ・豪雨対策と浸水被害の軽減

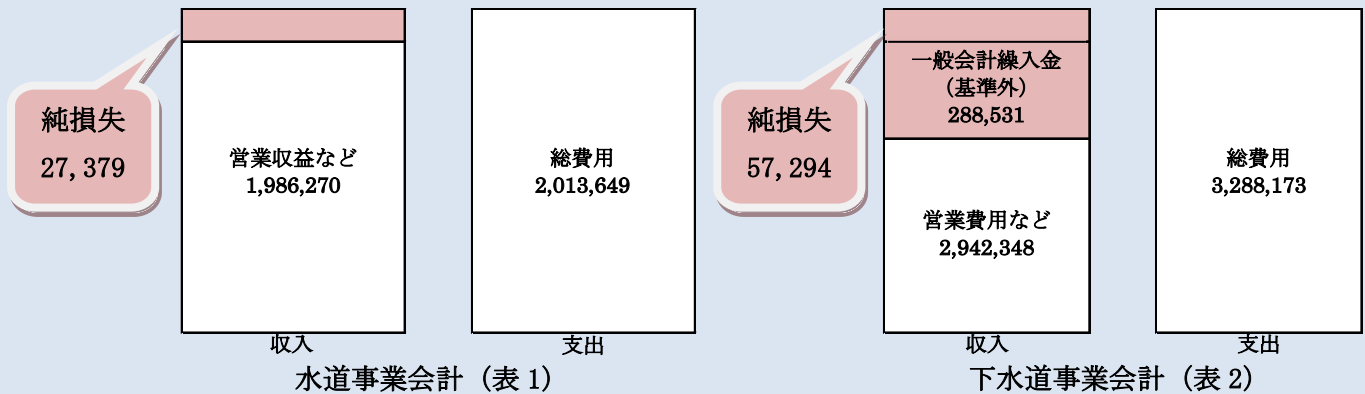
水道有収水量と給水人口の推移



厳しさを増す経営状況

- ・水道事業の平成 23 年度決算は約 27,379 千円の純損失（表 1）で、3 年連続の赤字決算となっています。
- ・下水道事業では平成 23 年度決算は約 57,294 千円の純損失（表 2）、約 1 億 5,400 万円の累積赤字を計上するなど経営的に大変厳しい状況にあります。

平成 23 年度水道事業・下水道事業会計収支表（単位：千円）



（表 1）（表 2）出典 平成 23 年度決算書「損益計算書」

※下水道事業の一般会計繰入金とは

雨水処理は市税で、汚水処理は使用料で経費を賄うこととされていますが、使用料だけでは財源が不足するため、市税で補っています。

「上下水道事業経営計画」について

○計画の目的と期間

本計画では、上下水道事業の経営上の課題を抽出・分析して改善策を講じることを目的とし、健全な企業経営と計画的な事業推進を図ります。なお、この計画は、平成 24 年度から平成 33 年度の 10 年間です。

○10 年間の主な基本方針

- ・本計画では、経営基盤の維持・強化のための取り組みを以下のとおりとしました。
- ・料金の改定と職員数の削減によって事業に必要な財源を確保します。
- ・職務分析を行い、業務の合理化と民間委託の利活用を進めます。
- ・未収金対策を継続的に推進します。
- ・広域的な防災・減災対策に向けた取り組みを検討し実施します。
- ・上水道事業基本計画との連携を密にして事業推進を図ります。

○今後の収支見通し

上下水道事業を取り巻く課題に対応しながら、安定した経営を維持するためには、長期的な収支バランスと一定の黒字を確保することが必要となります。そのため、水道事業では 5.5%、下水道事業では 13% 程度の料金改定を行うとともに、職員定数の適正化により財源の確保を図ります。また、こうした取り組みと合わせて民間委託の活用や、未収金対策も継続的に推進します。

防災・減災対策では、広域的な取り組みを進めるとともに、現在検討を進めている上水道事業基本計画との連携も図ります。